

Japanese Association of Tomography



断層映像研究会 第33回 研究発表会 プログラム

メインテーマ

断層映像の飛躍—US、MD-CT、MRI、SPECT、PET、PET-CT—

会 期：平成16年10月15日(金)・16日(土)

会 場：千里ライフサイエンスセンター

560-0082 大阪府豊中市新千里東町1-4-2

TEL: 06-6873-2010 FAX: 06-6873-2011



大会長：楢林 勇

(大阪医科大学放射線科)

第33回断層映像研究会の開催にあたって

第33回断層映像研究会

会長 植林 勇 (大阪医科大学放射線科)

このたび第33回断層映像研究会をお世話させていただくに当たり、ご挨拶を申し上げます。

断層映像研究会の前身は断層撮影法研究会と称されており、第1回学術大会はCTが普及する前の昭和48年に開催されています。直線のX線断層からはじまった断層映像はその後、多軌道X線断層、CT、超音波断層、SPECT、MRI、PETと進化し、本研究会は昭和63年に第17回学術大会を開催された時から断層映像研究会と改称され現在に至っています。一時はこの研究会の必要性が議論になったりしました。しかしマルチスライスCTの開発、PETなどの断層映像の発展とあいまってこの研究会には若い先生方が多く参加されるようになって参りました。

この度、平成16年10月15日(金)、16日(土)に千里ライフサイエンスセンターを会場として第33回断層映像研究会を開催させて頂くことになりました。

メインテーマは、「断層映像の飛躍—US、MD-CT、MRI、SPECT、PET、PET-CT—」とさせて頂きました。CT画像の三次元化、CTの被曝の問題、昨年末にわが国でも認可となったPET-CTなど断層映像にかかわるさまざまな事柄を取り上げたいと思います。特別講演には徳島大学の西谷 弘先生に「超多断層画像時代のフィルムレスホスピタル」と題してご講演をさせて頂きます。シンポジウムは大阪大学の中村仁信先生、愛知医科大学の大野和子先生のご司会による「マルチスライス時代を迎えたCTの被曝について」と慶應義塾大学の久保敦司先生、東京女子医科大学の日下部きよ子先生のご司会による「FDG-PETによる腫瘍診断のガイドライン」の2つを予定しており、ワークショップとして藤田保健衛生大学の片田和廣先生、東京慈恵会医科大学の福田国彦先生のご司会による「MD-CT三次元画像の処理方法と実用的活用法」を開催させて頂きます。教育講演はCT、MRI、US、放射線治療計画の画像など8題を予定しています。一般演題は20題あり、内容が充実しているため昨年同様、口演とともに展示発表もおこなって参加者にじっくりとご覧頂くことに致しました。また、テクニカルノートとしてランチョンセミナーにて「PET-CT装置の最新技術と臨床導入状況」を5人の演者の方々をお願いしました。

皆さまのご協力とご参加をよろしくお願い申し上げます。

それでは今秋、皆様に大阪でお目にかかれることを楽しみにしています。

参加者へのご案内

1. 受付

- ・参加受付：10月15日(金)午前8時30分より千里ライフサイエンスセンター5階
ライフホール前ロビーで行います。
- ・参加費：3000円
- ・研究会入会、年会費の受付も行います。
一般演題の筆頭発表者は会員に限ります。非会員である場合は入会手続きを行って下さい。

2. 昼食

大会2日目にランチョンセミナー形式にてテクニカルノートを開催いたします。

3. 懇親会

日時：平成16年10月15日(金) 18:00～20:00

会場：千里阪急ホテル西館2階 仙寿の間 <http://www.senri-htl.co.jp>
大阪府豊中市新千里東町2丁目1-D-1 TEL：06-6872-2211



▲千里阪急ホテル

参加費：3000円

参加受付：参加費は当日、研究会参加受付にてお支払い下さい。

4. 宿泊

本研究会誌6月号(Vol.31 No.2)の宿泊案内をご参照下さい。

インターネットでもご覧いただけます。

第33回断層映像研究会のホームページ(下記URL)にアクセスして下さい。

5. その他

ご不明な点は事務局または受付までお問い合わせ下さい。

事務局：〒569-8686 大阪府高槻市大学町2-7 大阪医科大学放射線医学教室内
第33回断層映像研究会事務局

TEL：072-683-1221(内線2386) FAX：072-684-6545

URL：<http://www.jat2004.org/>

研究会当日：大阪府豊中市新千里東町1丁目4番2号

千里ライフサイエンスセンター

TEL：06-6873-2010(代表)

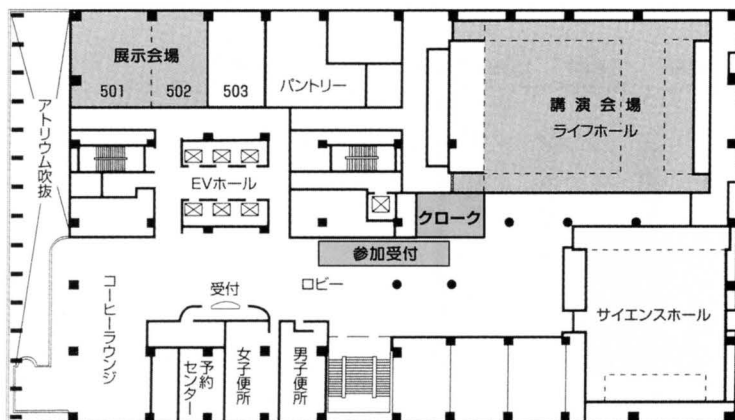
会場案内

<研究会会場> 千里ライフサイエンスセンター
 560-0082 大阪府豊中市新千里東町1-4-2
 TEL: 06-6873-2010 FAX: 06-6873-2011
<http://www.senri-lc.co.jp>



<交通>

- ・地下鉄千里中央駅北出口すぐ
(御堂筋線→北大阪急行)
- ・大阪国際空港からモノレールで約13分
(南茨木から約11分、門真市から約24分)
- ・大阪国際空港から車で約15分
- ・新大阪駅から地下鉄で約13分
- ・大阪梅田から地下鉄で約19分



- ・講演会場
千里ライフサイエンスセンター 5階
ライフホール
- ・展示会場
千里ライフサイエンスセンター 5階
501, 502号室
- ・編集委員会
平成16年10月14日(木)
16:00~17:30
千里阪急ホテル 東館2階 紅梅の間
- ・世話人会
平成16年10月15日(金)
12:35~13:35
千里ライフサイエンスセンター 9階
901号室
- ・懇親会
平成16年10月15日(金)
18:00~20:00
千里阪急ホテル 西館2階 仙寿の間

第33回断層映像研究会日程表

第1日目 10月15日(金)

| 9:00 | 9:05 | 11:05 | 12:35 | 13:40 | 13:50 | 15:10 | 16:40 | 17:40 | 18:00~ |
|-------|----------|----------|-------|-------|--|---------|-------|-------|--------|
| 大会長挨拶 | 教育講演 1~4 | シンポジウム 1 | 昼食 | 総会 | 一般演題 1 (診断 腹部 I) 一般演題 2 (診断 脳・腹部 II・四肢) | ワークショップ | 特別講演 | | 懇親会 |

第2日目 10月16日(土)

| 9:00 | 11:00 | 12:00 | 12:10 | 13:10 | 13:20 | 14:20 | 15:50 | 15:55 |
|----------|-------------------|-------|----------------------|-------|--------------|----------|-------|-------|
| 教育講演 5~8 | 一般演題 3 (診断 胸部) | | テクニカルノート (ランチオンセミナー) | | 一般演題 4 (核医学) | シンポジウム 2 | 閉会挨拶 | |

第33回断層映像研究会

メインテーマ：断層映像の飛躍－US、MD-CT、MRI、SPECT、PET、PET-CT－

プログラム

第1日目 10月15日(金)

- 09:00－09:05 大会長開会挨拶(植林 勇)
- 09:05－11:05 教育講演1～4
1. MRS及びスペクトロスコピックイメージングの進歩と有用性について 原田 雅史(徳島大)
司会：井上 佑一(大阪市大)
 2. 脳機能 MRI 藤田 典彦(大阪大)
司会：穴戸 文男(福島県立医大)
 3. 放射線科医に必須の消化管超音波診断 本田 伸行(医真会八尾総合病院)
司会：吉川 公彦(奈良医大)
 4. 放射線腫瘍医が必要とする画像診断 西村 恭昌(近畿大)
司会：早淵 尚文(久留米大)
- 11:05-12:35 シンポジウム1
「マルチスライス時代を迎えたCTの被曝について」
司会：中村 仁信(大阪大)、大野 和子(愛知医大)
1. CT検査による被曝の現況 西澤かな枝(放医研)
 2. CT被曝の人体への影響 富樫 厚彦(新潟大)
 3. CTの被曝－その社会的要因－ 片田 和廣(藤田保健衛生大)
 4. 小児のCTの被曝とその影響 藤岡 睦久(獨協医大)
- 12:35－13:40 昼食
- 13:40－13:50 総会
- 13:50－15:10 一般演題1： 診断：腹部I
座長：坂本 力(公立甲賀病院)
1. マルチスライスCTを用いた大腸癌の深達度診断 金本 高明(大阪医大)
 2. 画像所見から術前診断が可能であった腎浸潤性腎盂癌の一例 中山 格(琉球大)
 3. MDCTで重複腎動脈の支配領域は推定可能か？ 桑原 雅知(大阪大)
 4. MRI拡散強調画像による膀胱腫瘍23例の検討 村上 陽子(公立甲賀病院)
- 一般演題2： 診断：脳・腹部II・四肢
座長：中尾 宣夫(兵庫医大)
5. 男性プロラクチノーマのMR所見 稲田 悠紀(大阪医大)
 6. IVRの完遂にMDCTを用いたAngio-CTが有用であった2例 谷口 尚範(神戸大)
 7. 睪癌の3D-CT angiographyとMPRの合成画像 森下 哲(高知大)
 8. 骨格筋の筋収縮運動時における高速MR画像 藤原 俊孝(京都大)
- 15:10－16:40 ワークショップ
「MD-CT3次元画像の処理方法と実用的活用法」
司会：片田 和廣(藤田保健衛生大)、福田 国彦(東京慈恵会医大)
1. CT Coronary Angiography の評価法について 安野 泰史(藤田保健衛生大)
 2. 中枢神経容積データの画像処理法と活用法 佐々木真理(岩手医大)
 3. 肝・胆・膵領域における三次元画像の実用的活用法 内田 政史(久留米大)
 4. 腹腔鏡下手術に必要な3次元画像－処理方法と実用的活用法－ 松木 充(大阪医大)
 5. 骨軟部病変のMD-CTと3D画像 辰野 聡(東京慈恵会医大)
- 16:40－17:40 特別講演
「超多断層画像時代のフィルムレスホスピタル」
司会：植林 勇(大阪医大)
- 18:00－20:00 懇親会 於：千里阪急ホテル 西館2階 仙寿の間

第2日目 10月16日(土)

09:00-11:00 教育講演5~8

5. 読影に役立つびまん性肺疾患のCT像 村田喜代史(滋賀医大)
司会:吉田 祥二(高知大)
6. 読影に役立つ肺癌のCT像 楠本 昌彦(国立がんセンター)
司会:栗山 啓子(大阪府立成人病センター)
7. 頭頸部の画像診断 上杉 康夫(大阪医大)
司会:田中 良明(日本大)
8. 女性骨盤内臓器の画像診断:実戦編Part1 田中優美子(筑波大)
司会:鳴海 善文(大阪大)

11:00-12:00

一般演題3: 診断:胸部

座長:村山 貞之(琉球大)

9. 顆粒球コロニー刺激因子(G-CSF)誘発性間質性肺炎のHRCT所見および臨床像の検討 佐藤ひろみ(産業医大)
10. 皮膚筋炎患者の胸部高分解能CT所見の検討 渡部 渉(埼玉医大総合医療センター)
11. Virtualbronchoscopyによる超音波気管支鏡下縦隔リンパ節生検支援の試み 中谷貴美子(高知大)
12. 16列MDCTを用いたワークステーション上での肺動脈3D構築の検討 宮武 加苗(高知大)
13. 高速16列MDCTを用いた冠動脈描出の初期経験 小林 薫(兵庫医大)
14. MDCTで求めた冠動脈カルシウムスコアと心筋血流シンチ所見の比較検討 清水 裕次(埼玉医大総合医療センター)

12:10-13:10

テクニカルノート(ランチョンセミナー)

「PET-CT装置の最新技術と臨床導入状況」

司会:畑澤 順(大阪大)

1. 高性能GSO-PET(PET/CT)装置 磯島 博(日立メディコ)
2. GE社PET-CTの最新技術 関口 康晴(GE横河メディカルシステム)
3. PETの進歩-島津製PETの歴史とEminenceの開発- 高橋 宗尊(島津製作所)
4. 最近のPET、PET/CTの進歩について 中西 啓(シーメンス旭メディテック)
5. PET、PET/CTへの東芝の取組み 本村 信篤(東芝メディカル)

13:20-14:20

一般演題4: 核医学

座長:本田 憲業(埼玉医大総合医療センター)

15. ^{123}I -Iomazenilを用いたベンゾジアゼピン受容体結合能の定量的測定 清野 修(福島医大)
16. 16ch MDCTを用いた冠状断MPR像と核医学画像の自動重ね合わせソフトの開発について 堀越 浩幸(群馬県立がんセンター)
17. 深吸気息止め肺血流SPECT-CT融合像による肺血流SPECT像の吸収補正 河上 康彦(山口大)
18. タリウム-201心筋QGSにおける壁運動と壁厚の定量的評価 米矢 吉宏(近畿大)
19. 脊椎圧迫骨折の骨SPECTによる検討 河 相吉(関西医大)
20. ^{67}Ga -SPECT/CT融合画像による腺癌の再発・転移巣診断 小森 剛(大阪医大)

14:20-15:50

シンポジウム2

「FDG-PETによる腫瘍診断のガイドライン」

司会:久保 敦司(慶応大)、日下部きよ子(東京女子医大)

1. 臨床における腫瘍診断-先端医療センターでの取り組み- 坂本 攝(先端医療センター)
2. FDG PET検査の腫瘍診断のガイドライン 藤井 博史(慶応大)
3. FDG-PET検査における医療放射線の防護(規制)に関する考え方について 池淵 秀治(日本アイソトープ協会)
4. ドイツにおけるクリニカルPETの現状 百瀬 満(東京女子医大)
5. 日本核医学会の「院内製造されたFDGを用いたPET検査を行うためのガイドライン」について 伊藤 健吾(国立長寿研)

15:50-15:55

閉会の辞

発表者へのご案内

展示発表のお知らせ

口演発表について

1. 今回の大会ではPCプレゼンテーションに限らせていただきます。スライドでの発表はできませんのでご了承下さい。
2. スライドプロジェクターは1台です。発表データをCD-ROMにて事前に第33回大会事務局(大阪医大)までご送付下さい。またバックアップ用としてCD-ROMやUSBメモリなどのメディアにデータを保存したものをご持参下さい。
3. 発表の30分前までに試写コーナーにて出力をチェックして下さい。

送付締切：平成16年10月8日(金) 必着厳守

発表時間について

1. シンポジウム、ワークショップの発表者は事前の打ち合わせの指示に従って下さい。
2. 一般演題は発表7分、質疑応答3分とします。
3. テクニカルノート(ランチョンセミナー)の発表は10分です。

今回も前回同様、一般演題の発表者には展示発表もしていただきます。これは研究発表に使用された断層映像の画像をゆっくり参加者に見ていただくという趣旨で企画したものです。展示討論は行いません。また機器展示(パネル)も展示会場で行う予定です。

ポスターについて

1. タイトル・所属・氏名の大きさ：縦13.5cm×横100cm
2. 資料の大きさ：縦90cm×横116cmを2段
(ポスターの貼り付け可能なサイズは1段につきB4シートで縦3枚、横3枚の計9枚です)
3. 演題番号は事務局で用意します。
4. ポスターの展示は501号室と502号室で行います。
5. ポスターの貼り付けは事務局の用意した専用の両面テープを使用して下さい。
6. ポスターの貼り付けは大会初日の10月15日(金)9時から12時の間に行ってください。
7. 撤去は大会2日目の10月16日(土)午後の一般演題終了後より閉会までの間に行ってください。
8. 撤去時間以降に残ったポスターは事務局で処分します。

演題番号(事務局で準備します)

